

## 提案書

平成 19 年 9 月 7 日

総務省情報通信政策局地上放送課 御中

郵便番号 700-8580

住所 おかやましまるのうち岡山市丸の内2-1-3氏名 さんようほうそうかぶしがいしゃ山陽放送株式会社代表取締役社長 ふじわらたかあき藤原隆昭

電話番号

担当者電子メールアドレス

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題について提案を提出します。

## 1 制度分野

- ・デジタルラジオのメディアとしての位置づけは、アナログラジオとデジタルラジオの並存から緩やかにデジタルラジオに移行できる様な制度を検討して頂きたい。
- ・マルチメディア放送とデジタルラジオとの関連性は、音声を主とし、映像・データを組み合わせたマルチメディア型放送の制度で検討して頂きたい。
- ・エリアについては、現在の免許形態を維持したい。
- ・単独免許か受委託免許かの問題は、費用との関連になると思いますが、現段階では単独免許で検討したいと思います。
- ・デジタルラジオの放送内容につきましては、将来的には基幹放送を想定していますので、現行の総合放送をマルチメディア型放送に合致する様にリメイクしたいと思います。

## 2 技術分野

- ・デジタルラジオの方式はISDB-Tsbを支持したい。
- ・周波数としては、VHF-highを希望したい。

## 3 ビジネスモデル分野

- ・将来的に、緩やかな移行により基幹放送を目指したいので、広告収入による無料放送で検討して頂きたい。

## 4 その他

- ・地域に密着したマスコミとしての地域情報は、メディア環境が変わっても不可欠だと確信していますので、単なる情報ではなく放送法に基づき、各地域での生活・安全・文化・経済を支えるデジタルラジオ放送にしたいと思います。